芦高新聞

発行所　県立芦屋高等学校出版部
兵庫県芦屋市宮川町55

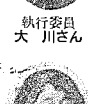
万年筆専門店
製作と修理と販売
堀万昭堂
芦屋本通り
電話六四四三

第九代自治会役員就任す

会長　中島君

副会長　井上君

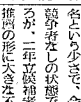
副会長　城田さん

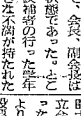

書記　真砂君

執行委員　佐野君

文化部長　入江君

執行委員　大川さん


執行委員　助野さん


運動部長　田窪君

第九代目自治会役員選挙は、第八代下村会長以下の任期終了に伴い去る十一月九日の立会演説会に引き続き、十一月二十四日講堂において行われた。投票終了とともに開票が始り、その結果、会長中島功能、副会長城田宏子、井上美智恵、書記真砂公昭、執行委員助野雅子、佐野真、大川智子さんらが各々当選され、十二月十日の就任式を終るはずである。

論説　自治会の再認識を

新執行部に望む

生徒会の果たすべき事の一つである役員選挙も終り、新役員はそれぞれの分野において向う一年にわたる活動を開始したが、われわれ芦高の一般の雰囲気は如何に変り、われわれ芦高の一員の自治という意識が向上したであろうか。現在の自治会を冷静に見直してみたい。

執行部の行為は、われわれの自治会をより発展させることにあるのだが、芦高の自治会に対する無関心が、生徒自身の自治会に対する認識不足に原因がある点を考えてほしい。生徒自らの手による自治が、いかに有意義であるかを痛感させてほしいのである。

〃われわれはクラブ活動に参加している。だから自治会活動に参加しているという言葉を聞くが、そのクラブ活動も満足な状態ではない。生徒会員がクラブ活動に参加してこそ、高校における特別教育活動の意味がなされるのである。又、自治の活動などは、何個月か例会と決っていても、その日が就会と名ることが多くある。

生徒の選挙に対する認識不足の原因として、学校、就職の問題によるものが考えられるが、もっとわれわれが自治ということに目覚したら先生に〃委員々々〃といわれなくとある程度までは自分で解決出来るはずだ。われわれが自治おこたり、学校に多々と名ざれるようになってはいけない。今月下げられた、先日の県教委の各校合同研修の留日及びその一週間前のように選挙で選ばれた委員会員がもっと積極的に活動したなら、その前日になって、大そうな会などと名ざれることもなかったであろう。

自治会における認識不足の原因としては、学校、就職の問題によるものが考えられるが、もっとわれわれが自治ということに目覚したら先生に〃委員々々〃といわれなくとある程度までは自分で解決出来るはずだ。われわれが自治おこたり、学校に多々と名ざれるようになってはいけない。今月下げられた、先日の県教委の各校合同研修の留日及びその一週間前のように選挙で選ばれた委員会員がもっと積極的に活動したなら、その前日になって、大そうな会などと名ざれることもなかったであろう。われわれが真剣に活動委員を選挙し、また委任委員がもっと積極的に活動したなら、その前日になって、大そうな会などと名ざれることもなかったであろう。

〃われわれはクラブ活動に参加している。だから自治会活動に参加しているという言葉を聞くが、そのクラブ活動も満足な状態ではない。生徒会員がクラブ活動に参加してこそ、高校における特別教育活動の意味がなされるのである。又、自治の活動などは、何個月か例会と決っていても、その日が就会と名ることが多くある

皆んなで考えよう

昨年の創立五周年を契機として、芦高を改革の時期に入ったようだ。今世界が歴史の曲り角といわれている時に、芦高もその発展の路線にたっているのかも知れない。開明の厳しい現実は、一部で噂されている芦高の二〇履修案という言葉までが現われてしまうのではなかろうか。その過渡期にあって、今こそ我々芦高生は、自分達の姿を振返し、反省と共に真の方向をみつめて進まなければならない。

その第一歩として、出版部ではまずその二〝当面の問題点芦高生〟その三〝教師父兄の見る芦高生〟その三〝教師生徒の合同懇談会による座談会〟の三回に分けて連載する事にした。みなさんの御協力をお願いする。

芦高生を批判する

当面の問題点芦高生

入学当時、芦高という名前に〝自分の服装に責任のもてない者、職員という名に値しない者は、自分の行動に責任をもつ事ができない〟といった先輩の言葉は極端にこぼしくあってもし。

我々は感じている。生徒方に関心の薄い過激的な立場にあるといったものが、だんだん眞の意味とは遠いものになってきたようも、現状にも……。それだけにそれに伴った問題点をもつ者もある。このような消極的な者がいるかぎり、学校側から、じわじわと自由の幅を狭められていかれてもしかたがないのではなかろうか。

〝天下の芦高〟の名前のもとに、学業面の指導された跡が、今回名実共にこうれつであるように感える。即ち、どころによると全国高校評判記に自由を追してもあまりよくはないがれていないそうである。現代の芦高生の特徴としている〝自由〟それは非常に良い事である。しかし物事には限度というものがあってこそ成立していくのである。そして無限の自由などは存在しない。その点、芦高生一人一人が自覚を持ち、物事に対じめをつけようと、一歩大切に思える〟

（一年女子）

何事をするにも、無関心な人間や、つぶし的な存在が多い。クラスの事にしても学校の事にしても大部分は、まるで関係がないというような感じでいる。他人に迷惑をかけるような事がなければ、自治会員に対しての関心などは自治会員に対しての関心などは知る必要はないものであり、それによって自治会の大体の方向を決定していくのである。

まず第一に私れわれ自治会員が団結を強くし、ある方針のもとに進まなければならないと思う。しかし強制は、余り好ましくない。それは芦高の特色をなくしている。それは芦高の特色を無理はない。しかし強出され、代表に選ばれて欲しいのである。

一言理由を決定するにしても、二度も議を流してしまうといった状態が多いためのではない。この代議員だけであるように、常にあらゆる場合において大人の求めやまないものである。それ程大切なものであるのに、どうして芦高の自由がかられつつあるのだろう。

多くの者が、無意識のままに自由は与えられている。制服がないということは、何でもないようだが、芦高の大きな特徴をなしている。それは芦高の特色であるのかもしれない。

自治会員諸氏の積極的な協力を期待して、年の候補者が始んど総委員会と同じ顔ぶれであるとは、あまりにも無関心さに驚いてしまう。

自治会発展のためには、今迄やる事を怠けずに、あらゆる場合に於いて、自治会の活動に参加し、自治会の発展を期するために

冷害の北海道

昭和七年につぐ大凶作

今年の北海道の冷害凶作は昭和七年の大凶作についで、被害面積は三百九十七億町、被害戸数六十五万二千五百八十二町歩、北見地方の凶作地帯も含めて二十九町歩にのぼる打撃を受けた。水田、畑作地帯の被害面積は二十八、九年の連続凶作から一年おいての年の減収に加え、きびしい稼穡期を目前に控えての冷害とあって、一般農家は二十年来の惨状だと悲鳴をあげている。

十勝地方の冷害現場

十勝地方の凶作は昭和七年の凶作についで、二十年来の惨状だと悲鳴をあげている。

写真説明

右上は隣組と送られる救援物資

上は本校で行われた募金

今後の追込みに期待

補導課長　丸茂喬先生

大阪朝日新聞のいちうの落第が細部に於ける厳しくなると、秋いも早く始まったので、一流会社は猫の手も借りたい程忙しくなっているわけである。今年は例年よりも早く始まったので、一流会社は猫の手も借りたい程忙しくなっているわけである。今年は例年よりも早く始まったので、一流会社は猫の手も借りたい程忙しくなっているわけである。今年は例年よりも早く始まったので、一流会社は猫の手も借りたい程忙しくなっているわけである。

→

透視

投稿歓迎　出版部または投書箱まで

先生にもの申す

近頃の先生は誠に約束を破るの多い事である。一学期に約束した事を二学期はちゃんと破る。

→

図書部へ

図書室ではぼつぼつその蓄積方針を変えるべきではなかろうか。部員全くの御意見である。あんな事は、抵面の無駄使いである。そんな事に金を使う位いならば、もっと内容の充実した図書を買うべきだと思う。

→

スポーツ

◇バスケット部
オープン戦
芦屋76―38西脇
芦屋14―2西脇
芦屋4―0東脇
芦屋3―0県伊丹
芦屋5―7A師町高
芦屋0―1市立
芦屋0―1市立
オープン戦
芦屋1―2兵庫工
芦屋14―2西脇
芦屋4―0東脇
芦屋3―0県伊丹
芦屋5―7A師町高
芦屋0―1青葉（延長十六回）

◇硬式野球部
練習試合（十一月三日）
芦屋0―3兵庫工
芦屋0―3A神戸商
芦屋0―3A神戸商
芦屋0―3A神戸商

新会長に望む 楽しい学園生活を！

下村雅信

〃冬六甲に錦織って、万歳叫としてきつけたかどうか、我々から心ずむとも……〃

昨年十二月一日、自治会役員選挙の結果、真珠の第五代会長に選ばれ、選挙に一万票を獲得した下村雅信君は、次のような抱負を語ってくれました。

〃選挙運動の激しい学園生活〃またえず目標として、組織してやってきれとしか言いようがない。

これが僕の任期中、取り得た私のか全部不出来に終ったのとしたい。

言い訳ではないが、僕の思っていた半分が実行出来れば僕は充分うの結果だと思っている。

教室前の掲示板に「花びらく　とすぐにはピンと来ない。

「という、大学の新入生の出てくる小説が感じた。その中に「入生、講師「うする」にしても普通の日本語では「馬鹿な事をいった」というところ。「君は学生の医師の教室に行けば良い」と言われた。

「諸君の学生生活は始まる前から終るまで」とかできない」などという。そうある毎に思い出す。しかし私の大学である。朝、顔を合せると「今日学生は、始まる前の出物はない」といって呉という事になっているので、な事の指導が一緒り下待っての事。

かなかかわない文句を並ぶのである。先だってもこういうのがあった。

もっとも私の大学では、「学勤なっており、その日曜には「宿題」が出されるとオーバーの思物がキッリ並んでいる。大体校内の掲示板は様ざまな学生側のハンコが変るのだが、こう場合には必ずや何会社のどういう型のものかが詳く寄せてある。何たらは遊ぶ位がいの為にあるのである。こんなに多くの学生が見るのだから、本学部創立五十周年記念事業を発行する記念の自治演奏会を休止する。即、十一月二十四日（土）二十五日（日）は、本学部創立五十周年記念事業を発行する記念の自治演奏会を休止する。即、十一月二十四日（土）二十五日（日）は、本学部創立五十周年記念事業を発行する記念の自治演奏会を休止する。即、十一月二十四日（土）

これが「日にちは、二十四日の自主的研究を休んで、休講の時はみです。という事態であるこ

先輩通信

掲示板

喜志哲雄

何を書いて出してもよい事に習慣二つだというのがある。

先だってもこういうのがあった。

「来る十一月二十三日（金）二十四日（土）二十五日（日）は、本学部創立五十周年記念事業を発行する記念の自治演奏会を休止する。即、十一月二十四日（土）二十五日（日）は、本学部創立五十周年記念事業を発行する記念の自治演奏会を休止する。即、十一月二十四日（土）

これが「日にちは、二十四日の自主的研究を休んで、休講の時はみです。という事態であるこ

かなかかわない文句を並ぶのである。先だってもこういうのがある。

もっとも私の大学では、「学勤なっており、その日曜には「宿題」が出されるとオーバーの思物がキッリ並んでいる。大体校内の掲示板は様ざまな学生側のハンコが変るのだが、こう場合には必ずや何会社のどういう型のものかが詳く寄せてある。何たらは遊ぶ位がいの為にあるのである。こんなに多くの学生が見るのだから、

「紹介状として千円」とろうという。

アルバイトでは、先生の家庭教師なども流行の職である。

何か困ったら「人生の不安」を

変った掲示板には、ギターや剣道の練習に二年どういうのがある。冬

今までに見た一番ばかましいのとしたい掲示板を発表しようと思ったが、それはどうもうまくない。校舎から出て行く学生諸君の目だけは掲示板にキョロつき、何か書いてありはしないかと、吹けば飛ぶような学生側がぞろぞろ

校内に〃声〃を名づけられた投位しか出来なかった。

賛箱が設けられた昨年十二月五日、われわれの住居はまって間もない頃だった。

では声の高生以来一年間の〃声〃の足跡といったものをたどってみることにしよう。

先ず一昨年は旧一年生の諸君から校内の見々におなじみの〃声〃の箱が設けられ、

今年一年の〃声〃を振り返って

旧皆記長　井川実

（主に前半について）

やはり皆高生一般に〃関心の高い組織として記念祭に関する声が多かった。これはわれわれが計画を具体的に述べてゆくに当り分野等になった点でもある。

それから貸出しの参についても必然的な要望によって、今までのオンボロ傘が、百本の新しい傘に生れ変ったことをつけ加えておこう。

会員の入場の高見に止まったとは残念であった。

（主に前半について）

〃記念祭に関する前半は、皆高生一般に〃関心の高い組織として記念祭に関する声が多かった。これはわれわれが計画を具体的に述べてゆくに当り分野等になった点でもある。

それから貸出しの参についても必然的な要望によって、今までのオンボロ傘が、百本の新しい傘に生れ変ったことをつけ加えておこう。

編集後記

◇今号は二年生が新聞にかかりきりで一年間見だけの手によって編集された。

◇未経験者ばかりの一年生が編集して立派な新聞を発行しているのは驚くべきことである。

◇今号は二年生が新聞にかかりきりで一年間見だけの手によって編集された。

◇未経験者ばかりの一年生が編集して立派な新聞を発行しているのは驚くべきことである。

文具　紙　短册　色紙
前田十字堂
芦屋市公光町八（本通リ）
TEL 5273

新刊書籍・雑誌・文具
本校指定書店
大利昭文堂
阪急芦屋川駅前
TEL 芦 3760